

# 日本計算工学会講演会論文集 投稿用和文版下原稿執筆要領

## INSTRUCTIONS FOR PREPARATION OF CAMERA-READY MANUSCRIPTS FOR PROCEEDINGS OF COMPUTATIONAL ENGINEERING CONFERENCE OF JSCES

大坪英臣<sup>1)</sup>, 武田洋<sup>2)</sup>

Hideomi Ohtsubo and Hiroshi TAKEDA

- 1) 工博 東京大学教授 工学系研究科 (〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1, E-mail)  
2) 工博 法政大学教授 工学部土木工学科 (〒184-8584 東京都小金井市梶野町 3-7-2, E-mail)

The Proceedings of Computational Engineering Conference of JSCES will be prepared from camera-ready copy received from authors. All manuscripts should be in Japanese or English. Please follow the instructions printed on this sample paper with regard to the placement of title, authors' names and affiliations as well as main text. No paper that exceeds four pages can be included in the Proceedings.

**Key Words** : *Times, italic, 9pt*

### 1. はじめに

このファイルは計算工学講演会論文集の完全版下和文原稿を作成するために必要なレイアウトやフォント等の基本的な情報が記述されています。

本論文集は著者が作成した版下原稿をそのまま縮小せずにオフセット印刷をします。ここに記載されている事項に従い、印字品質の高いタイプあるいはレーザープリンタ等を用いて版下原稿を作成して下さい。

原稿は A4 サイズ 2 段組、4 ページ以内の偶数ページでまとめて下さい。用紙は、市販の A4 用紙をお使い下さい。学会で特別な用紙は用意しません。上下辺、左右辺とも マージンは 2cm とします。ヘッダー、フッターは設けません。本文は (25 文字 + 2 文字 + 25 文字) の 横 2 段組とし、50 行 (行間約 14.4pt) で作成して下さい。また、文字サイズは 明朝 9pt を持ちいて下さい。最後のページは左右をできるだけそろえるようにして下さい。

提出原稿の 裏側右上方に鉛筆で、ページ番号 (1/4 など) を記入しておいて下さい。

### 2. タイトルページのレイアウトとフォント

#### (1) タイトル部

タイトル部は例のように、1 段組として下さい。1 ページ目の 1 行目のみに、例のように 左右に詰めて、「計算工学講演会論文集 Vol.11(2006年6月)」、「計算工学会」を ゴシック体 9pt を用いて記入して下さい。なお Vol. と年号は毎年変わりますので注意して下さい。

1 行あけて、タイトルを記述します。タイトルは ゴシック体 18pt を用い、センタリングします。さらに 1 行あけて、英文タイトルを Times, 10pt、大文字、センタリングで書いて下さい。

1 行あけて、例のように 著者名を 明朝 10pt、センタリングで書いて下さい。著者が複数の場合には、例のように 肩カッコ付き数字を付けて下さい。次ぎの行に、Times, 10pt を用いて 英文の著者名を書いて下さい。

1 行あけて、著者の 所属を 明朝 9pt、センタリングにより記入して下さい。著者が複数の場合には、例のように 著者名に付けた肩カッコ付き数字と対応させて記入して下さい。

1 行あけて 英文概要を、Times, 9pt を用いて書いて下さい。このとき、左右を 明朝 9pt で 5 文字程度あけるようにして下さい。次ぎの行に 3~4 程度の英文キーワードを例のように、Times, 9pt, italicにより記入して下さい。'Key Words' という文字は ボールドイタリック体にします。

#### (2) 本文部分

キーワードの後、2 行あけて本文に移ります。本文は、一般ページと同です。横 2 段組、50 行 (行間約 14.4pt)、明朝 9pt で作成して下さい。

### 3. 見出し（見出しが複数行に渡る場合には、このようにインデントを付ける）

#### (1) 章の見出し

見出しのレベルは3段階とし、第1レベル（章）は、上に1行あけて、ゴシック体、10ptにより「2. 数値計算例」のように記入して下さい。

#### (2) 節の見出し

第2レベル（節）の見出しは前後に空白行を設けず、ゴシック体、9ptにより「(2) 節の見出し」のように記入して下さい。

#### a) 項の見出し

第3レベル（項）の見出しも前後に空白行を設けず、ゴシック体、9ptにより「a) 項の見出し」のように記入して下さい。

### 4. 数式および数学記号

数式はセンタリングし、式番号はカッコ付きの通し番号で右詰として下さい。

$$F(x) = \frac{\sqrt{a^3}}{(a+b)} \int_{\Omega} g(t) dt \cdot e^x \quad (34)$$

また、数式の前後には1行空白行を設けて下さい。

### 5. 図表

図表は、本文で引用した箇所に近い場所に置くことを原則とします。できるだけ、原稿末尾にまとめて置くことは避けて下さい。

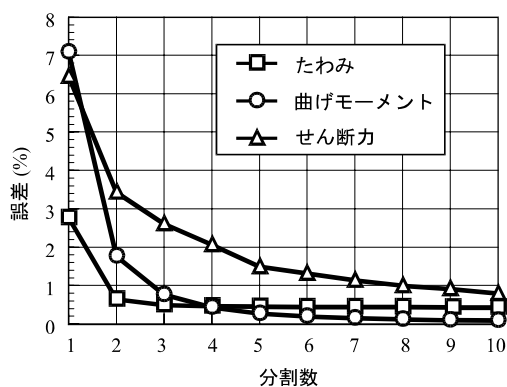


図3 図のキャプションは図の下に置く

図表の前後には、空白行を1行設けて下さい。表のキャプションは表の上に、図のキャプションは図の下に、置いて下さい。図番号、表番号は通し番号とし、ゴシック体、9ptで書いて下さい。英文キャプションの場合には、Fig.3やTable 3などのようにTimes, 9ptを用いて下さい。

Table 3 Sample Table

No.	case	case(Pa)
1	abcd	123.0
2	efg	56.7
3	hijk	-

### 6. 最終ページのレイアウト

最終ページは左右の段落ができるだけそろうように調整して下さい。

参考文献は出現順に番号を付け、該当個所に[3]のようにカギカッコで指示して下さい。参考文献の引用リストは例を参考にして、文末に1行あけ、ゴシック体、9pt、センタリングで「参考文献」と記入した後、番号順に記入して下さい。

謝辞：謝辞は結論の後に書いて下さい。

#### 付録 付録の位置

付録は参考文献の前に書いて下さい。

#### 参考文献

- 1) 川井忠彦, 大坪英臣: 計算工学講演会論文集の書き方, 計算工学講演会論文集, Vol.1, pp1-2, 1996
- 2) Yamada, Y. et al.: Plastic stress-strain matrix and its application for the solution of elasto-plastic problems by a finite element method, Int. J. of Mechanical Science, Vol.10, pp343-354, 1968
- 3) 鷲津久一郎: 弾性学の変分原理概論, 培風館, 1972
- 4) Martine, H.C. and Carey, G.F: 有限要素法の基礎と応用, (鷲津久一郎, 山本善之共訳), 培風館, 1979
- 5) Zienkiewicz, O.C.: The Finite Element Method (3rd edn.), McGraw-Hill Co.Ltd., 1977